

平成28年度大磯町教育委員会第5回定例会議事録

1. 日 時 平成28年8月18日（木）
開会時間 午前9時00分
閉会時間 午前9時35分
2. 場 所 大磯町役場本庁舎4階 第1会議室
3. 出席者 藤 家 崇 教育長
中 野 泉 教育長職務代理者
青 山 啓 子 委員
曾 田 成 則 委員
濱 名 三代子 委員
岩 本 清 嗣 教育部長
小 島 昇 学校教育課長
山 口 友紀子 学校教育課副課長
森 田 敏 幾 参事（地域総合戦略担当）
瀬 戸 克 彦 子育て支援課長
佐 川 和 裕 生涯学習課長
國 見 徹 生涯学習課郷土資料館長
早 崎 薫 生涯学習課図書館長
秋 本 篤 史 （書記）学校教育課教育総務係長
4. 欠席者 なし
5. 傍聴者 1名
6. 教育長報告
7. 付議事項
議案第5号 平成28年9月補正予算における教育委員会予算要求について
議案第6号 大磯町立図書館協議会委員の任命について
8. 報告事項
報告事項第1号 平成27年度教育委員会所管決算見込みについて
報告事項第2号 巡回展の開催について
9. その他

（開 会）

教育長） 出席委員が5名で定足数に達しており、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第14条第3項の規定により、定例会は成立します。

なお、本日は傍聴を希望されている方が見えておりますので、大磯町教育委員会会議規則第12条及び第17条の規定により、傍聴を許可します。

暫時休憩ののち傍聴人が入室し再開した。

(平成28年度第4回定例会議事録の承認)

教育長) 「平成28年度第4回定例会議事録」は、1ページから13ページに記載のとおりでよろしいでしょうか。

各委員) 異議なし。

教育長) 異議なしの声がありましたので、「平成28年度第4回定例会議事録」については、ご承認いただいたものとします。

教育長報告

教育長) 7月定例会開催後の平成28年7月21日から本日までの教育委員会諸行事等について報告させていただきます。

7月23日より、郷土資料館第2回巡回展を城山公園旧吉田茂邸地区管理休憩棟におきまして開催しております。7月定例会で報告いたしましたとおり、タイトルは「大磯町の海辺の自然」で、会期は8月31日までを予定しています。

7月27日及び28日、昨年度から新たに開講しました、小学生を対象とした子ども初級英語講座を、教育研究所主催で開催いたしました。英語指導助手や小・中学校教員の指導のもと、本年度は姉妹都市交流で大磯町に来られていたデイトン市の高校生にもお手伝いをいただき、参加した児童は英語に親しむことができました。

国・県の補助事業として進めております「国府祭調査事業」につきましては、調査員と神社側との顔合わせを、8月1日までに関連する6社すべてで終了し、調査が開始されております。

8月3日、町立学校のすべての教職員を対象に教育課題研修会を開催いたしました。横浜国立大学教育人間科学部名誉教授の高木展郎先生を講師に迎え、学習指導要領改訂と学習評価についてご講演をいただきました。これからの学校教育で求められることについて、町立学校の教職員が共有することができました。当日は、教育委員の皆様にもご出席をいただき、ありがとうございました。

そのほかにも、学校等の夏休み期間中を活用し、子どもを対象とした事業や教員を対象とした各種研修会を開催いたしております。

その他の諸行事につきましては執行状況表のとおりです。

なお、今後の予定につきましては、執行予定表をご参照ください。

また、7月定例会から本日までの間に、教育長に委任された事務で重要なものに関する、専決した事項に関する、その他については、国府中学校体育館の工事完成が、トイレの揮発性有機化合物の空气中濃度が高かったため遅れていましたが、数値が下がり8月5までに工事を終了し、8日に

完成認定を行いました。体育館のすべての施設が使用できるようになっています。また、本年度4月に実施されました全国学力・学習状況調査の結果が、昨日17日に送付されました。今後、結果の分析作業を進めてまいります。
報告につきましては、以上でございます。

議案第5号 平成28年9月補正予算における教育委員会予算要求について

郷土資料館長) 議案第5号平成28年9月補正予算における教育委員会予算要求について、ご説明いたします。

今回の補正につきましては、旧吉田茂邸に係る事業の内容精査により生じるものです

資料の別紙をご覧ください。予算科目は教育費・社会教育費・郷土資料館費です。事業名は、はじめに教育普及・企画展事業、印刷製本費です。補正理由としては地方創生加速化交付金申請の不採択による減額です。

次の2行目、3行目につきましては旧吉田茂邸維持管理事業の消耗品費と修繕料ですが、これも補正理由は、地方創生加速化交付金申請の不採択による減額です。

次の4行目の事業名は旧吉田茂邸維持管理事業、需用費、修繕料です。補正理由としては開館に先立つ、フローリングの汚れ防止加工処理実施のための増です。

次は役務費 通信運搬料で、補正理由はオープニングイベントに際しての楽器運搬のための増です。

次は委託料、清掃委託料で、補正理由は全館清掃委託実施のための増です。

次は委託料、ホームページシステム開発委託料で、補正理由は旧吉田茂邸ホームページシステム開発のための増です。

次は委託料、式典会場設営及び進行等業務委託料で、補正理由はオープニングイベント式典会場設営及び進行等委託業務実施のための増です。

次は使用料及び賃借料、会場使用料です。補正理由は旧吉田茂邸オープニングイベントの会場使用のための増です。

本日ご説明した内容につきましては、現在理事者等と調整中の部分もありますので、若干の内容変更がある場合がございますのでご承知おきいただければと存じます。説明は以上です。

質疑応答)

中野委員) 一番下にある会場使用料及び賃借料というのは、誰に払う料金ですか。会場は吉田茂邸なのに、なぜ使用料を払わなければならないのかなと、ちょっと素人目に思ったのですけど。

郷土資料館長) これにつきましては、吉田茂邸ですと、式典をやるには手狭ということがございましたので、別の会場を想定しております。そのための会場使用料ということでございます。

中野委員) 納得しました。ありがとうございました。

青山委員) 国の交付金の申請が不採択になったという部分が3カ所ありますけれど

も、交付金がなくなってマイナス補正になるということで、事業自体何か内容を縮小するとか、変わるというようなことが起きているのですか。

郷土資料館長）ここに3項目減額のものがございすけれども、これは財源を確保できないということでございすので、この部分につきましては事業規模が縮小されます。また今後どのような対応ができるかということは考えていきたいとは思っています。

濱名委員）今の青山委員が言っていたことと同じような、この3項目になるのですけれども、内閣府の8月2日の発表で、二次募集分で約1,000万が地方創生加速化交付金として大磯町に出ていたと思うのですけれども、この3つが不採択というのは少々意味がわからないので教えてください。

郷土資料館長）不採択分のご質問でございすか。

参事（地域総合戦略担当））地方創生加速化交付金というのが国の補助金の名称になります。本来、交付金というと、何々事業という大きな事業名をもとに全てが採択されるか、されないかという流れですが、この地方創生加速化交付金は、概ね10本ぐらいの事業をまとめて交付申請しました。その事業本数10本の1つずつに対して、採択、不採択を国が判断したものです。

よって、旧吉田茂邸等に関しての3つの事業は、国から採択されないという内示を受けたということがございす。交付金自体が100%補助の交付金でありましたので、この交付金を活用した中で事業がさらにできるような目的で進めていましたので、不採択ということであれば、今年度はこの事業は凍結させていただいて、次年度以降に事業を進めていくか、進めていかないのかを改めて検討した上で事業振興を図っていききたいと、町として考えていくということです。

教育長）質疑を打ち切ります。討論を省略し採決に入ります。

議案第5号について、原案どおり、ご異議ありませんでしょうか。

各委員）異議なし。

教育長）異議なしの声がありましたので、議案第5号「平成28年9月補正予算における教育委員会予算要求について」は、原案どおりご承認いただいたものとします。

議案第6号 大磯町立図書館協議会委員の任命について

図書館長）議案第6号大磯町立図書館協議会委員の任命について説明させていただきます。説明資料の1ページをご覧ください。大磯町立図書館協議会委員の任期は、平成26年6月1日から平成28年5月31日までの2年間となっており、6名で構成されておりました。5月31日をもって、任期が満了となったため、今回、9月1日から大磯町立図書館の設置、管理等に関する条例に基づき、新たに委員を任命するため、教育委員会の承認を求めるものでございす。

議案のページにお戻りください。今回、提案させていただいた委員の方々は、名簿の選出区分欄にありますように、社会教育関係者1名、学校教育関係者1名、家庭教育関係者2名、学識経験者2名の構成になっております。6名のうち5名が再任で、青木弘氏の1名が新たに委員をお願いする方です。なお、任期は、平成30年8月31日までとなります。

説明資料の2ページは、大磯町立図書館の設置、管理等に関する条例の条文と、図書館法における図書館協議会委員の基準、定数等に関する条文抜粋部分でございます。

3ページ目は、今回の改選前における図書館協議会委員の名簿でございます。そのうち上から2番目の山田茂広氏が今回退任をされる方でございます。説明は以上になります。ご審議をよろしくお願いいたします。

質疑応答)

中野委員) 皆さんの方をとっても非常に経験豊かで、知識の豊富な方々でいらっしやいます。できればもうちょっと招集の頻度を上げて、せっかくのチャンスなのでこの方々一人一人のご意見を十分吸い取っていただいて、今後の運営の参考にしていただけたらと思います。よろしくお願いいたします。

図書館長) 現在、図書館協議会は年2回開催ということになっておりますが、前任の委員の方々からも他の市町村の図書館の視察などにも行きたいというご意見を伺っていますので、回数についても今後検討してまいりたいと思います。

中野委員) よろしく願いいたします。私が委員だったときは、やはり近隣の市町村の図書館に視察に行かせていただきました。非常に参考になりました。ぜひよろしくお願いいたします。

青山委員) この委員の皆さんのことについては特に異論はございませんけれども、任期のことについて質問させてください。前任者の任期の満了が5月の31日になっていきますけれども、次の方たちが今度は9月1日からの始まりということで、そこにブランクが3カ月ぐらい生じるのですが、これは特に問題はないのでしょうか。

図書館長) 本来ですと5月31日が任期満了なので、6月1日から続いて任命すべきところなのですが、ブランクができてしまうこと自体は特に問題はないと思われます。また9月1日から新たに2年間ということになります。

青山委員) なるべくブランクがなく、スムーズに任命をしていったほうがいいのかと思いますから、その点はこれからご配慮していただけたらと思います。

濱名委員) 私も図書館協議会というものが、図書館運営の状況が把握できるような回数であったり、反映できるようなものでお願いしたいと思っておりました。この委員の公募というのはどのような状況でしたか。

図書館長) 今回の委員の改選については、公募は実施しませんでした。その理由としては、現在、図書館で図書館のサービス計画と子ども読書活動推進計画を策定中でありまして、できれば前任者の方に引き続き今年度も意見をいただきたいということで、そのまま留任をしていただくということで、今回、学校教育関係者の学校長・園長会の推薦の委員の方のみの交代ということで、そういう委員の任命をさせていただきました。

濱名委員) ちょっとそういうコントロールがいいのかどうか、私はわからないのですが、公募というのはするものかと思っていましたので。

教育長) 公募についての考えはどうかということですね。

中野委員) 経験者として思ったのですが、資料を作成するのがすごい量なのです。これはやはりそう簡単にはできないと思います。やはり継続して同じ方が見るのが一番良いかと思います。

生涯学習課長) 図書館サービス計画、それから、それに付随する子ども読書活動推

進計画は継続して審議していただけてきました。今、中野委員からもご意見がありましたように、内容はかなりボリュームのあるところでございます。これまでもいろいろと読み込んでいただいたり、いろいろとご意見をいただいた中で、まだ完成には至っておりません。そういう継続の中で、やはり当初からご意見をいただいてかかわってきていただいた中で、完成までは何とか継続して議論していただくほうが、図書館にとっても、計画の作成に当たってもいいのではないかなというような考え方を持っております。できれば継続した中で、引き続いて最後までご意見をいただくような形でお願いしたく、よって今回は、できれば継続という形で委員さんにもご相談をしたという経緯がございます。

濱名委員) 理解しました。

教育長) 質疑を打ち切ります。討論を省略し採決に入ります。

議案第6号について、原案どおり、ご異議ありませんでしょうか。

各委員) 異議なし。

教育長) 異議なしの声がありましたので、議案第6号「大磯町立図書館協議会委員の任命について」は、原案どおりご承認いただいたものとします。

報告事項第1号 平成27年度教育委員会所管決算見込みについて

学校教育課長) 報告事項第1号、平成27年度教育委員会所管決算見込みについて説明いたします。お手元の資料をご覧ください。

はじめに、大磯町全体の一般会計歳入・歳出決算見込額について説明します。歳入の決算見込額は、一番上の表の右から3番目、収入済額の111億605万8991円で前年度比約14.4%の増、歳出の決算見込額は、次の表の右から3番目、支出済額の103億5298万7266円で約15.8%の増となります。

それでは、教育委員会所管の歳出決算見込額について説明します。

3番目の表の科目、教育総務費の支出済額の欄をご覧ください。支出済額は1億9682万7808円で、前年度比約0.6%の増、不用額の予算額に対する割合は1.9%です。教育指導費、教育研究所維持管理運営事業の「わたしたちの大磯」印刷製本予算が、平成28年度へ繰越となっています。

次に科目、小学校費の支出済額は1億7971万5734円で、前年度比約43.7%の増、不用額の予算額に対する割合は約5.9%です。前年度比で大幅増の理由は、大磯小学校グラウンド改修事業を実施したことによるものです。

次に科目、中学校費の支出済額は1億3582万5419円で、前年度比約143.9%の増、不用額の予算額に対する割合は約1.8%です。前年度比で大幅増の理由は、国府中学校体育館耐震補強改修工事を実施し中学校給食を開始したことによるものです。国府中学校体育館耐震補強改修工事の予算の一部が平成28年度への繰越となっています。

次に科目、幼稚園費の支出済額は1億8100万9214円で、前年度比約6.3%の増、不用額の予算額に対する割合は約2.8%です。

最後の科目、社会教育費の支出済額は4億4030万8098円で、前年度比約49.7%の増、不用額の予算額に対する割合は約1.4%です。郷土資料館リニュ

ーアル事業及び旧吉田茂邸再建事業予算が平成 28 年度への繰越となっています。

以上の決算見込額により決算書を作成し、9 月大磯町議会定例会に提出し、承認を求めることとなります。平成 27 年度教育委員会所管決算見込額の概要説明は以上です。

質疑応答) なし。

報告事項第 2 号 巡回展の開催について

郷土資料館長) 報告事項第 2 号、巡回展の開催について、ご説明させていただきます。

資料裏面をご覧ください。現在郷土資料館は、展示リニューアル工事のため休館しております。休館中に、町内の公共施設等を利用して巡回展を開催しており、現在第 2 回巡回展「大磯町の海辺の自然」を県立大磯城山公園旧吉田茂邸地区管理休憩棟において開催しております。

次回、第 3 回巡回展といたしまして、過去にも開催しております「大磯の災害」パネル展を図書館展示コーナーを会場として開催いたします。会期は 9 月 17 日から 10 月 16 日までの 27 日間を予定しております。

質疑応答)

曾田委員) 大磯の地震とか、風水害、噴火等ありますけれども、今回は大体いつの時代からテーマとされていますでしょうか。

郷土資料館長) 平成 24 年度に開催いたしました企画展の「大磯の災害」を要約したもので、江戸時代以降の事象を対象としたものでございます。

(その他)

事務局) 次回の定例会は、9 月 21 日(水)、午前 9 時から、大磯町立図書館 2 階大会議室で開催予定です。

教育長) それでは、以上をもちまして、平成 28 年度 大磯町教育委員会第 5 回定例会を閉会いたします。お忙しい中、長時間に渡りご審議いただきまして、ありがとうございました。お疲れ様でした。

(閉会)

会議の経過を記載し、その相違ないことを証しここに署名する。

平成28年 9 月21日

教 育 長 _____

教育長職務代理者 _____

委 員 _____

委 員 _____

委 員 _____